

# 校舎改築だより

第 3 号

平成20年9月11日  
県立八重山養護学校  
校舎改築  
プロジェクト委員会  
9月担当 比嘉 展寿

## 基本設計大筋でまとまる！

### ～県との活発な意見交換会を2回行う～

7月と8月に県と学校との間で2回の意見交換会が行われ、県から出された平面図を元に、それぞれの教室についての具体的な話し合いが活発に行われました。その中で、校舎の向き、各学部棟の配置、特別教室などの配置など、新しい八重山養護学校の形が話し合われ、大筋で基本設計がまとまりつつあります。校舎配置は、運動場はそのままに、現校舎がある場所に新しい校舎が建つことになりました。



## 新校舎はすべて2階建て！

### ～風向きを配慮し校舎の向きは90度変更～

#### トイレなどのレイアウトで細かいやりとり

養護学校の要？であるトイレについて熱い議論が交わされています。新校舎のトイレは小、中、高それぞれ何度も学部会を重ね、より使いやすいトイレを目指して、何度も設計図の見直しが図られました。トイレはいろいろな障がい種の生徒がそれぞれ使いやすいように配慮され、衛生面も充分配慮されたものとなっています。

新校舎の目玉

「トイレ」にご期待あれ。



新校舎は風向きを配慮し、現在の校舎の向きとは90度配置を変更しています。また、学校の敷地面積の関係から全ての校舎が2階建てとなり、中学部と高等部、また特別教室の一部がそれぞれ2階に配置されることになりました。また、新校舎には新たに幼稚部が設置され、現在の中学部棟の付近に23名程度の定員を予定した寄宿舎も新設されます。体育館も新しくなり、現在の小学部付近に建設予定です。

新校舎が出来上がるまでの仮校舎の設計案も大筋でまとまり、現在の運動場の中（緑地帯）に2階建て2棟、1階建て1棟をそれぞれ建設予定です。工期は当初の予定より若干遅れ、旧校舎の解体作業が3月頃から始まり、その後に新校舎の着工予定ですが、今後日程が分りしだい追って報告していきたいと思います。